



「海洋プラスチックごみ」

今回は、「海洋プラスチックごみ」のお話です。

ポイ捨てや放置されたプラスチックごみが、河川などを通じて海へ流出し、海洋プラスチックごみとして、海岸や海底にたまったり、海中を浮遊したりします。なかでも、5mm未満の微細なプラスチックは「マイクロプラスチック」と呼ばれています。

プラスチックを含む海洋ごみは、生態系を含めた海洋環境の悪化や海岸機能の低下、景観への悪影響、船舶航行の障害、漁業や観光への影響など、国内外で様々な問題を引き起こしています。

【ここに注目】

海洋プラスチックごみ対策として、人の手や装置などを使っての回収などが行われていますが、そもそもごみを出さないことが大切です。

マイボトルやマイバッグを持ち歩いたり、使い捨てプラスチックの使用を減らしたり、ごみの分別を徹底したりするなど、身近なことから始めてみましょう。このままでは、50年後の海の中は、魚よりごみのほうが多くなるともいわれています。地球環境だけでなく、今の生活や食を守るためにも、海洋プラスチックごみを減らす方法を今一度考えてみましょう。

【関連 URL】

環境省エコジン

<https://www.env.go.jp/guide/info/ecojin/feature1/20250423.html>

政府広報オンライン

<https://www.gov-online.go.jp/article/202510/entry-9656.html>

認知症地域支援推進員のつづやき No.93 日々の生活に「寄り添い」を

先日「介護者のつどい」で、ある方が新聞の記事を紹介してくださいました。認知症の夫が妻の顔も名前も忘れ、「自分は結婚していたのか」と問います。妻は夫の世界観を壊さないように寄り添いながら、「良い奥さんに親孝行な娘さんがいて、幸せな結婚をされていますよ。私はパートのお手伝いです」と伝えました。すると夫の表情が安心したようにパッと明るくなったそうです。妻は「聞いたことを数十秒後には忘れるので、泣いたり笑ったりよ」と明るく語っていたそうです。

相手の心に寄り添い、ありのままを受け止めることは安心につながります。「寄り添い」は、人と人との間に穏やかな空気を生み、互いの気持ちをやわらかくしてくれます。日々の介護の中では、寄り添うことが難しいと感じるときもあるかもしれません。そんなとき、思いを語り合い、ほっとできる場の一つが「介護者のつどい」です。同じ立場の方と話すことで気持ちが軽くなることもあります。人は人に寄り添い、寄り添われながら生きています。

お互いを支え合える場が地域の中にあることもまた、大切な「寄り添い」のかたちです。そんな支え合いの輪が広がってほしいと思います。一人で抱え込んでいませんか？あなたは決して一人ではありません。皆さまのご参加をお待ちしております。

私たちはここにいます！

認知症地域支援推進員配置施設

- 利根町地域包括支援センター ☎68-2211
- 利根町保健福祉センター ☎68-8291
- 複合福祉施設 響 ☎61-8500
- 介護老人保健施設 もえぎ野 ☎84-6081

地域おこし協力隊通信



池本隊長



最近の私の取り組みを紹介します。まず、3月4日には羽根野台自治会館主催の留学生交流会に参加しました。

3月19日には、利根国際学院の卒業式に来賓として出席し、3月26日には、コネクとね主催の日本語スピーチコンテストにゲストとして参加。他にも、利根町国際交流会の全体会議に出席するなど、地域コミュニティの活性化に資する活動も行いました。

また、これまで留学生と交流する中で、アルバイトの採用に苦難する学生を多く見てきましたので、留学生の支援に関する活動も行っております。

その一環として、4月5日に、「日本語 Talk Base」を開催しました。アルバイトの採用や就職活動を題材として、留学生の日本語での会話力向上を図る活動であり、今後も継続して開催していく予定です。



多文化共生プロモーターとして初めに取り組んだのは、できるだけ多くの留学生とコミュニケーションを取ることでした。その一環として、留学生とゴミ拾いをしたり授業に参加するなどの交流を試み、顔を覚えてもらうことに尽力しました。

また、家庭訪問を行い、日本の生活で困っていることなどを聞き取りながら、日本生活のルール指導やサポートをしています。これらの活動で見えてきたのは、日本のことが全く分からない、日本語が喋れない留学生が多いという実態でした。

そこで、「にほんごであそぼう！」のタイトルで、簡単な挨拶や、生活のルールを分かりやすく教える企画「トーク！トーク！」を開催した結果、7名の留学生が参加してくれました。今後も、家庭訪問から見えてくる課題に、色々な方法で取り組んでいきたいと思えます。



奥田隊員



スポーツ指導者募集

地域クラブ活動「すばかるとね」事務局では、さらなる内容の充実に向けて、引き続き指導者を募っております。スポーツ指導歴がある方や、お知り合いにスポーツ指導が可能な方がいらっしゃいましたら、役場生涯学習課までご紹介ください。

【問い合わせ】生涯学習課 社会教育係 ☎68-2211 (内線423)